

第5回市川・浦安 秋季陸上競技記録会 競技注意事項

1. 規 則

競技は2026年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。
なお、2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則 TR16.5の適用はしない。

2. 練 習

- (1) 練習は、競技場の指定された場所（芝生フィールド、バックストレート付近）を選手のみが行うものとし、安全面に十分注意して行うこと。
- (2) 会場への投擲物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に行うものとする。
- (3) フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。

3. 競技場とスパイクの使用

- (1) 競技場は全天候型である。
- (2) 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。※ニードルピンの使用は不可。
- (3) シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。
走高跳：20mm以内（かかと含む）
走幅跳：20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
トラック種目：20mm以内

4. 選手受付（招集方法について）

- (1) 一次招集と二次招集を行う。
一次招集：選手は、プログラムの招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所に行き、招集を行う。
その際、アスリートビブスを着用して招集所に来ること。
※2種目出場する選手で、競技時間と招集時間が重なる場合は、1種目目の招集時に事前に各校で準備した『多種目同時出場届B』を招集所にて提出すること。
トラック競技： 競技開始45分～30分前 フィールド競技： 競技開始60分～45分前
二次招集：選手は、一時招集完了後速やかに、トラック競技はスタート地点、フィールド競技は競技場所へ移動し、二次招集を受けること。
※トラック競技は競技開始10分前、フィールド競技は競技開始20分前には、競技場所へ移動完了していること。
競技時間等の変更がある場合については、競技役員の指示およびアナウンスをよく聞くこと。
- (2) 選手受付（招集）をしていない者は棄権とみなし出場を許さない。
- (3) トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。
（リレー競技は第4走者のみ）

5. 観覧について

- (1) スタンドのみの観覧とする。選手、役員以外の競技場への立ち入りは禁止とする。
- (2) スタンドでは座って観覧すること。特に最前列での立っての観覧は他の人の迷惑になるので避けること。

6. 入退場

- (1) 入場については役員の指示・誘導に従う。
- (2) 本部前は通行しないこと。
- (3) トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、スタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻ること。

7. アスリートビブス

- (1) 中学生、高校生は千葉県小中学校体育連盟並びに千葉県高校体育連盟陸上競技専門部指定（2026年度）のものを使用する。一般は主催者が用意したものを使用する。

- (2) アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

8. 走路順

トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示すものとする。

9. リレー競技について（リレーオーダー用紙は招集所に準備）

- (1) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出のこと。
- (2) リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- (3) リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔TR24.4を適用〕

10. 走高跳のバーの上げ方

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
男子走高跳	1m25 50・70	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cmずつ
女子走高跳	1m10・30	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cmずつ	

11. 計時について

競走競技はすべてのトラック種目のレースにおいて写真判定を採用する。

12. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の適用はしない。

13. 中長距離走のスタートについて

800mにおいては、オープンスターを採用する。

14. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、砲丸投は3回の試技とする。
- (2) 砲丸投について、砲丸投で使用する滑り止めは各自で準備をする。
- (3) 中学・高校・一般が同時刻に競技をする種目（走高跳、砲丸投、走幅跳）の試技は同時進行で行い、順番は中学生からとする。

15. 表彰

表彰は行わない。希望者に1部100円で記録証を発行する。受付にて申し出ること。

16. その他

- (1) 記録の発表は、web並びにアナウンスを行うものとする。記録の掲示はしない。＜記録は速報値＞
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意すること。
ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (3) 選手控え場所については競技場内の、芝生スタンド、バックスタンドのみとする。バックスタンドには敷物などを設置して座席を独占してはならない。競技場外の芝生も利用可。
- (4) プログラムの記載事項の訂正については、8時30分までに、本人または代理人が本部へ届け出ること。
- (5) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (6) 雨天時に備えて各自で雨具の準備をしておくこと。
- (7) テントの設置の際、ロープをフェンスに巻きつけることはしない。